

飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

生息数が減少している
日本みつばちを応援したい！

飛騨日本みつばちの会



▲ハチたちの努力の結晶をいただきます。



▲市長室の裏に巣箱を設置しています。



▲せっせとお仕事している姿に癒されます。



今、全世界でみつばちがいなくなりつつあることをご存じですか？一説にはみつばちが絶滅すると、地球は人間が住めない場所になるともいわれている環境のバロメーター。飛騨でもすでに自然環境で生息する日本みつばちが減少しています。

環境のためにも、未来の飛騨のためにも、そんな日本みつばちを応援したいという思いで結成されたのが『飛騨日本みつばちの会』。今回は現会長の岡田さんとメンバーの末永さんにお話を伺いました。

元々飛騨地域で養蜂をしていた方々を中心に結成され、メンバーは飛騨市、高山市、下呂市と幅広く、情報交換をしたり、蜜源になる植物を植えたり、勉強会を行ったりと、個人ではできなかったことを協力し合って活動をさせています。現在メンバーは約40人。半分くらいが養蜂経験者で、半分は新規に始めた人だそう。みつばちは奥が深く、互いに教えあいながら試行錯誤を続けています。

みつばち飼育の良さを伺うと、「一生懸命働いているみつばちを見ていると癒されるんですよ。仲間の中でも、愛犬を亡くして落ち込んでいた奥さんが、みつばちを毎日眺めているうちに少しずつ元気になったという方もいました。高齢者の生きがいとしてもとてもお勧めです。」とのこと。

最近では、市民にも広く日本みつばちや環境について知っ

てほしいと、小さなまちづくり応援事業を活用して映画の上映会をしたり、休耕田などを活用して花や木を植える計画をしたり、身近に目にしてもらえるようにと市役所の市長室裏に巣箱を設置したりと活動を広げています。

「小さい命を大事にし、大きな自然に関わる人が増えていってもらえたら。今後も仲間づくりをしながら、自然に日本みつばちが生息できるよう応援するのが目標です。」と熱くお話しいただきました。

まずその一歩として、8月には親子向けのイベントを開催される予定です。是非皆さんでご参加ください。

【イベント情報】日本みつばちに触れよう!!

開催日：8/28（日）

時間：（第1部）13：30～14：15頃
（第2部）14：30～15：15頃

内容：※事前予約制

- ①日本みつばちの会紹介コーナー
- ②試食体験 巣からはちみつを掬ってみよう!
- ③みつろうロウソク作りコーナー

場所：千代の松原公民館

定員：親子15組程度（1部ごとに）※市内外問わず

※新型コロナウイルスの感染状況に応じ、急遽中止、または内容変更となる場合がございますのでご了承ください。

はちみつの
プレゼントも
あります!

基本情報

設立：2019年4月

活動場所：飛騨地域

主な活動：日本みつばちの保護と飼育、良質なはちみつ提供のための、蜜源植物の植樹、PR、勉強会など

▼一人で出来ないこともみんなとなら。



▲ふるさと納税でも販売中!

飛騨市のまちづくり最新情報はこちら▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>

